

TAKE FREE

ご自由にお持ち
帰りください

よつばだより

VOL. 33
2025.6.10



福山
リハビリテーション病院

発行元 〒721-0961 広島県福山市明神町二丁目15番41号 医療法人社団生和会 福山リハビリテーション病院 編集 医療法人社団生和会 福山リハビリテーション病院 広報委員会
2025.6発行 【ご意見・感想取り上げほしい内容等ございましたら院内に設置された「意見箱」でお待ちしています。】

地域活動紹介

福山リハが参加している地域活動を紹介します。

【百歳体操】

地域の公民館などに集まり、健康で転倒しない体づくりを行うことで骨折や寝たきりを防ぐ目的で行われています。リハビリテーション部から職員が出向いて体操の指導や体力測定を行っています。



どこでやってるの？

三吉町や西深津周辺での開催が多いです。



参加者は？

70-80歳代の方が多く、1回の開催で約10名程度の方が参加しています。

follow me

福山リハリハビリテーション病院公式Instagram
今月のおすすめインスタ

Check!

勉強会
身体拘束ゼロの明日を目指して

FUKUREHAごはん

5月5日 大人のお子さまランチ

福山
リハビリテーション病院

〒721-0961
広島県福山市明神町二丁目15番41号

084-916-5500

084-916-5511



公式ウェブサイト



Instagram



脳血管疾患（脳出血・脳梗塞など）の患者さまへの多角的な取り組みを紹介します。

FuKuリハ Initiative

シリーズ第4弾

～在宅復帰支援としての調理動作の工夫～

脳血管疾患を持つ患者さまの調理を支援するため、以下の補助手段を活用します。

- 1 自助具の利用**
握力が弱い方でも使いやすい、太いグリップの包丁など。
- 2 環境調整**
椅子に座って作業できるスペースを確保し、負担軽減。
- 3 安全な調理機器の活用**
自動調理機器や電子レンジを用い、火を使わず調理可能。



患者さまごとの適切な環境調整と訓練を通じて、スムーズな在宅復帰を支援しています。

TOPIC 02

近森病院・近森リハビリテーション病院
連携で広がるリハビリの可能性

高知県の近森病院・近森リハビリテーション病院の皆さまが福リハを見学されました。回復期リハビリ病棟の病床数が近いこともあり、双方の取り組みについて意見交換を実施。患者さまのより良い回復を支援するための貴重な学びの機会となりました。今後も連携を深め、安心してリハビリに取り組める環境づくりに努めてまいります。



TOPIC 01

2025.4
入職式を行いました

4月15日、入職式を行いました。今年度は4月に医師2名、看護師3名、理学療法士2名、作業療法士7名、言語聴覚士3名、社会福祉士1名の計18名の入職があり、その中で12名が新卒の職員です。これから社会人として、そして福山リハビリテーション病院のチーム医療の一員として活躍してこれることを思います。どうぞ温かご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



未来を見据えた医療とリハビリー福リハの挑戦

院長を拝命してから、はや1年が過ぎました。新型コロナウイルス感染症による大きなパンデミックのニュースは耳にしなくなりましたが、終息したわけではなく散発しており、予断は許されない状態が今後も継続すると思われます。新型コロナのみならず感染症は、リハビリテーションの制限となり、療養が必要な患者さまにとっては大敵となります。当院では、医師、感染症認定看護師など多職種で編成された感染コントロールチームが感染の拡大防止に目を光らせております。昨年9月には1年以上をかけて準備してまいりました日本医療機能評価機構のリハビリテーション病院機能評価を受審し、今年3月認定病院となりました。また、昨年12月より回復期リハビリテーションでは、人と設備の充実を図り、これまでの脳血管疾患等リハ、運動器リハ等に加え、急性心筋梗塞後や慢性心不全急性増悪などの心不全、心大血管の術後などを対象に日常生活への復帰や心不全を繰り返さないための心大血管リハビリテーションを開始しました。少子高齢化が進む世の中で医療・介護の世界でも人材確保が困難ですが、ワンランク上のリハビリテーションの提供による地域の皆さま、医療・介護機関から信頼される病院となるべく、私たちはこれまでの三つの基本方針に教育・人材育成、健全経営に関わる二つの要素を加え、その基本方針に沿って以下の今年度目標を定めました。職員一同目標に向かい日々前進し、より良い医療を提供することによる地域医療への貢献を目指してまいります。

2025年6月1日 病院長 喜岡 幸央

① 安全・安心の医療提供

- バーコード認証システム導入による誤認防止対策の強化
- 大災害・サイバー攻撃対応の事業継続プラン策定
- 高齢者の薬害軽減を目的としたポリファーマシー対策（7剤未満）

② 医療の質向上

- 身体的拘束最小化・排尿ケアチームによる排尿自立支援の推進
- IT化・電子認証導入による業務効率化と薬剤師の病棟配置強化
- 電子カルテの活用によるタスクシェア・タスクシフトの促進
- 研修整備・ラダー教育検証を通じた人材育成と教育活動の充実

③ 地域医療貢献

- 前方・後方病病＆病診＆介護連携の推進

④ 健全な経営

- 診療報酬未算定項目である医療安全対策加算2の算定
- コスト削減/費用管理（ペーパーレス化、給食業務におけるフードロス対策）

